

2 0 2 1 年 度

事業計画書及び収支予算書

2 0 2 1 年 5 月 2 0 日

一 般
社団法人 日本フルードパワー工業会

目 次

2021年度事業計画書及び収支予算書

I. はじめに	1
II. 2021年度の事業計画の概要	2
1. 需要対策事業	2
2. 国際交流事業	2
3. 標準化事業	3
4. 技術調査事業	4
5. 広報・PR事業	5
6. 中小企業関連事業	6
7. 振興対策・PL・その他事業	6
III. 会員状況	7
IV. 2021年度収支予算書	8

2021年度事業計画

I. はじめに

2020年2月にクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号の乗客に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹患していることが判明し大きな騒ぎとなったことを皮切りに感染が国内に広がり、遂に、4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には対象が全国に拡大し、5月25日におよそ1か月半ぶりに全国で解除されましたが、その後、第2波、第3波の感染拡大が起こり、遂に、今年1月に、再度東京を中心に二度目の緊急事態宣言が発令されました。この状況下、国内外の人の移動が厳しく制限され、これまでの企業行動も大幅に縮小せざるを得ない状況となりました。

また、9月には安倍首相が体調不良により辞任し、菅内閣が発足しました。米国では、11月の大統領選でトランプ氏から民主党のバイデン氏に代わり、トランプ政権時代に起こった米中貿易摩擦の行方は依然として不透明ですが、1月には、197兆円規模の追加経済対策を発表するなど、今後の米国の政治経済政策が大きく変わる可能性があります。一方、ブレクジットの動向も危惧されていましたが、世界経済に与えるダメージは最小限に食い止められた感もあります。この動きの中で、英国がCPTPPへの加入申請を正式に決めるなどの新しい動きも生まれてきています。

このような中、昨年度の工業会活動は、3密を避けるWEB会議形態での会議が多数となり、一方、海外視察団の派遣やIFPEX、年始会等が中止せざるを得ませんでした。今年度は、ワクチン接種などの国の諸施策により、新型コロナを乗り越えた所謂アフターコロナ時代に沿った、より効率化させた事業を目指していきます。特に、国が進める今後のゼロカーボン社会に向かって、水素関連技術等クリーンエネルギー関連技術の情報収集や将来を担う若手技術者の育成策を推進し、加えて、フルードパワー業界・企業をより広く深く広報していくために、1年延期したIFPEX2021の成功に向けて、委員会や部会・分科会活動を中心に事業を実施していきます。

II. 2021年度の事業計画の概要

1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場動向を把握するため、建設機械業界や半導体製造装置業界等ユーザ業界の設備投資、自動化・省力化投資動向等についてマイクロ・マクロ両面から調査・分析し成果を公表する。また、フルードパワーの受注・生産・出荷動向等の定期配信の迅速化に努める。そのため、以下の事業を実施する。

- ① 総需要委員会において、2021年・年度及び2024年・年度の油空圧機器の需要見直しを作成するとともに、必要に応じて2021年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する。
- ② フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。
- ③ 需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、必要に応じ関連団体の関係者を招いて意見交換する。
- ④ その他需要対策に必要な事業を実施する。

2. 国際交流事業

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振う中、世界規模で政治経済等未だに不確定要素が多く、国際委員会としても世界の政治経済動向を注視し情報収集に努め、的確な判断ができるよう世界各国・地域動向の把握と分析がより重要となってきた。例えば、昨年11月に署名された東アジア地域包括的経済連携（RCEP）などが今後業界にどのような影響を及ぼしていくのか、また、米国大統領の交代により、米中貿易摩擦の動きなど、注視していく課題は多い。これらの動向を踏まえながら、以下の事業を実施する。

- ① 海外のフルードパワー産業に関する情報の収集を行う。
 - イ) 海外フルードパワー工業会等との意見交換・連携強化を図る。
 - ロ) 中国、米国、欧州等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じ講演会の開催を検討・実施する。
 - ハ) 国際サミット・国際統計委員会に参加し、その結果を会員に提供する。
- ② 第26回IFPEX（フルードパワー国際見本市）の開催（2021年10月）に併せ、各国のフルードパワー工業会との意見交換をする場を設け、状況の把握を行う。
- ③ 新興諸国の市場動向等について情報収集や海外市場に係わる統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する。
- ④ 会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール

等について、在外公館等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じ講演会を開催する。

- ⑤ その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISO や JIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。

1) ISO 対策事業

- ① ISO 規格について検討し、必要に応じ制定・改正若しくは廃止するとともに、我が国提案の ISO 規格化の推進を図る。
- イ) ISO 中央事務局から配信される各規格開発の審議案件に関して、該当する国内対策分科会にて審議を行い、日本意見として答申する。(JKA 補助事業)
- ロ) ISO 20145/AMD (サイレンサの排気騒音レベルの測定方法) の規格原案作成における日本案盛り込みを推進する。(JKA 補助事業)
- ハ) 空気圧システムのエネルギー評価に関する新規規格制定における日本案盛り込みを推進する。(JKA 補助事業)
- ② ISO 国際会議へ積極的に参加をする。
- イ) ISO/TC131 関連の国際会議への委員派遣 (2021.5 : ウェブ会議, 2021.10 : 日本・姫路) (JKA 補助事業)
- ロ) ISO/TC118/SC3 及び SC4 の国際会議への委員派遣 (JKA 補助事業)
- ハ) ISO/TC131/SC8/WG14 の国際会議への委員派遣
- ③ ISO/TC131/SC7 (密封装置) の幹事国業務 (委員会メンバー各国との連絡・会議運営・規格開発の進捗管理等) を遂行する。(JKA 補助事業)
- ④ ISO/TC131/SC8/WG14 (水圧ポンプの試験方法) の幹事国業務 (委員会メンバー各国との連絡・会議運営・上位 SC との連携等) を遂行する。
- ⑤ 2021 年 10 月に予定されている ISO/TC131 国際会議の日本 (姫路) 開催に関して、滞りなく完了するよう、万全を期して準備を行う。

2) 規格事業

日本産業規格 (JIS)、日本フルードパワー工業会規格 (JFPS) について審議し、必要に応じ制定・改正、若しくは廃止する。

- ① 日本産業規格 (JIS)
(継続) 1 件

- イ) JIS B8392-3 空気圧－圧縮空気－第2部：オイルミストの試験方法
(2021.1 開始)
- (新規) 5件
- イ) JIS B8672-1 空気圧－試験による機器の信頼性評価－第1部：通則
(2021.7 開始予定)
- ロ) JIS B8672-2 空気圧－試験による機器の信頼性評価－第2部：方向制御弁
(2021.7 開始予定)
- ハ) JIS B8672-4 空気圧－試験による機器の信頼性評価－第4部：減圧弁
(2021.7 開始予定)
- ニ) JIS B2355-2 油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手－Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部－第2部：高压用（Sシリーズ）継手端部－寸法・設計・試験方法・要求事項（2021.7 開始予定）
- ホ) JIS B8665 油圧－バルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード（2021.10 開始予定）
- ② 日本フルードパワー工業会規格（JFPS）
(継続) 1件
- イ) JFPS 2027 空気圧機器の制御に関する用語（制定）

4. 技術調査事業

フルードパワー工業会としてSDGsの実現に貢献すべく、フルードパワー産業、関連産業技術及び水素エネルギー等の高度化・合理化・省エネについてフルードパワーシステム学会とも連携し、新技術情報や新製品情報を収集し提供を行う。そのために、油圧部会、空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施する。また、昨年技術企画委員会にて議論されたIoT化、電動化、ハイブリッド化や政策委員会で提案された水素関連技術等について、部会とは別に専門の委員を集めた研究会等の実施（補足資料1参照）を検討する。

1) 油圧部会及び空気圧部会

- ① ユーザ業界の最新の技術動向、及び関連産業界全体のIoT、AI、スマート化、ディープラーニング、設備予知保全等のトレンドを把握するための技術講演会を、ウェブ会議を前提に実施すると共に、機関誌の記事として掲載して広く会員企業に伝える。
- ② 若手技術者のスキルアップとコミュニケーション能力の向上のため、若手技術者懇談会（油圧部門、空気圧部門）を継続して開催する。懇談会は、講師を招聘しての参加者全員が発表する方式の勉強会及び受け入れ可能な企業への工場見学会など計2回/年程度計画し実施する。状況を見て、ウェブ会議方式での実施も検討

する。

- ③ RoHS2 規制、REACH 規制、及び各規制と CE マークとの関連、HACCP の義務化対応等、フルードパワーに関する安全規格に関する情報収集と提供を継続実施する。
- ④ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、油空圧機器部門の中央技能検定委員（特級・1級・2級）の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う。
- ⑤ その他、油空圧技術に関する諸問題に対応する。

2) 水圧部会

- ① ADS の更なる普及促進を図るため、PR（広報）グループにて HP 及びブログの運用を拡充強化し、MR（市場調査）グループでは ADS 需要分野として期待される各種見本市への調査を継続して行う。
- ② IFPEX2021 に水圧部会として、特別展示「水圧コーナー」の出展を検討し、必要に応じて実施する。
- ③ ADS の国際標準化原案を検討する「水圧システム分科会」活動に協力していく。
- ④ 内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じ国際会議への参加を検討する。
- ⑤ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

5. 広報・PR 事業

電子メールや HP 等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

- ① HP の英語簡略版を作成し、海外向けに情報を発信する。
- ② 編集委員会の企画に従い、産業界や世の中のトレンドに沿ったテーマを取り上げる機関誌「フルードパワー」（季刊）を発刊して会員企業はもとより関係機関等にも広く配布する。また、記事を HP の会員サイトに掲載し、広報・PR に努めるとともに配布先の拡充活動も継続して進める。
- ③ 工業高校・高等専門学校・大学等における教育資料、副教材等への活用として、「フルードパワーの世界」デジタルブック版の普及を図る。
- ④ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともに HP に掲載し広く広報に努める。
- ⑤ HP の内容をタイムリーに更新し、会員及び学会・関連関係者への情報開示を積極的に進める。
- ⑥ その他広報・PR 活動に関する事業を推進し、当会が開催する講演会や技術講座、出版物等について積極的な広報・PR 活動を行う。

6. 中小企業関連事業

新型コロナウイルス感染症対策による人や物の動きの制限等から発生する内外経済の停滞、米中貿易摩擦等の国際情勢の変化などに対応できる経営体質の強化は喫緊の課題であり、国の労働政策、中小企業施策等々関連情報の収集とその活用は重要である。これに対応するため、中小企業委員会と中小企業WGの活動を中心として、以下の事業を実施する。

- ① 需要業界や中小企業施策等の動向について経済産業省等と連携して迅速に情報を収集・提供し、必要に応じて視察等を行う。
- ② 中小企業WGでは、委員会の円滑な運営を図るための企画調整を行うとともに、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、これを委員会合同で議論し必要に応じて研修・視察を行う。
- ③ 中小企業を支える福利厚生事業の「共済保険（生命・傷害）制度」の参加企業の拡充を図る。
- ④ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

7. 振興対策・PL・その他事業

フルードパワー業界をより広く知らしめ、業界の更なる発展に資するために、IFPEX 実行委員会にて、その企画・実施を行うとともに、工作機械関連団体協議会を通じJIMTOF2022の準備を行う。また、国内CGL（国内PL・作業・業務遂行・施設のリスク：COMPREHENSIVE GENERAL LIABILITY）、及び海外PLからなる団体総合保険制度の健全な運営を図るとともに、企業リスク等に関する情報収集を行う。さらに、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ① 第26回IFPEX 2021（2021年10月6日（水）～10月8日（金）の3日間）を開催する。
- ② 第31回JIMTOF2022（2022年11月8日（火）～11月13日（日）の6日間）に会員企業が参加するための準備作業を行う。
- ③ 国内及び世界の市場動向の把握のため、産機・建機部会、シリンダ部会、空気圧本部会を開催し、今後の市場をけん引していくとみられているインドや東南アジアの市場動向に関する情報収集を行うとともに必要に応じ海外見本市の視察や工場視察を実施する。
- ④ 地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。

⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する。

2) PL 対策事業（リスク対策事業）

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るため PR 活動を引き続き実施する。
- ② 国内外地域を対象とした製造業者 E & O（経済損失カバー）保険制度については、引き続き関係者と連携して加入を進めていく。
- ③ 国内 PL 情報や海外 PL 情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する。
 - イ) ケーススタディを中心とした PL・企業リスク対策等の講演会を開催する。
 - ロ) リスク、PL 関連情報を随時電子配信する。

3) その他事業

- ① 新入社員、若手社員等を対象としたフルードパワー研修事業（技能士受験対策講座、基礎（初級）講座）を継続実施するとともに、新しく空気圧分野の講座開催に向けて検討・実施する。
- ② 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ③ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。
- ④ 西日本支部活動を支援する。
- ⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

Ⅲ. 会員状況

2021年4月1日現在の会員数は、正会員 60 社、賛助会員 63 社である。

2021年度収支予算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(金額単位：円)

科 目	2021年度予算	2020年度予算	増 減	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入金収入				
入 会 金 収 入	40,000	40,000	0	
入 会 金 収 入 計	40,000	40,000	0	
② 会費収入				
正 会 員 会 費 収 入	74,666,250	80,873,250	△ 6,207,000	60社 75%
賛 助 会 費 収 入	12,285,000	11,505,000	780,000	63社 75% ENEOS、カハラ 入会
協 賛 会 費 収 入	60,800	60,800	0	
会 費 収 入 計	87,012,050	92,439,050	△ 5,427,000	
③ 事務取扱収入				
P L 保 険 制 度 収 入	2,341,000	2,341,000	0	海外PL・国内PL保険事務
生 命 共 済 制 度 収 入	654,339	654,339	0	生命共済保険・傷害保険事務
国 際 見 本 市 収 入	10,000,000	440,000	9,560,000	IFPEX2021
事 務 取 扱 収 入 計	12,995,339	3,435,339	9,560,000	
④ 補助金等収入				
J I S 原 案 8 月 受 託 収 入	108,000	120,000	△ 12,000	JIS原案2020年8月 未定
J I S 原 案 12 月 受 託 収 入	0	0	0	JIS原案2020年12月 無し
J I S 原 案 4 月 受 託 収 入	0	180,000	△ 180,000	JIS原案2021年4月 未定
水 圧 国 際 標 準 化 受 託 収 入	0	3,592,000	△ 3,592,000	高効率水圧システムに関する国際標準化 無し
J K A 補 助 金 収 入	3,146,000	2,995,000	151,000	フルト・パワーの国際競争力に資する標準化推進 申請中
補 助 金 等 収 入 計	3,254,000	6,887,000	△ 3,633,000	
⑤ 雑収入				
受 取 利 息 収 入	400	400	0	預貯金利息
研 修 等 受 講 料 収 入	1,000,000	1,070,000	△ 70,000	油圧・空気圧調整技能士、油圧・空気圧技術講座
雑 収 入	993,000	993,000	0	JIS著作権料、証明書発行手数料、ホケットブック印税
雑 収 入 計	1,993,400	2,063,400	△ 70,000	
事 業 活 動 収 入 計	105,294,789	104,864,789	430,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
需 要 対 策 事 業 費 支 出				
役 員 報 酬 支 出	1,116,000	1,116,000	0	
給 料 手 当 支 出	1,962,600	1,925,550	37,050	
福 利 厚 生 費 支 出	461,000	506,500	△ 45,500	
会 議 費 支 出	260,000	260,000	0	
貸 借 料 支 出	515,300	515,300	0	
電 力 料 (光 熱 費) 支 出	8,775	18,195	△ 9,420	
リ ー ス ・ 保 守 料 支 出	40,460	66,821	△ 26,361	
通 信 運 搬 費 支 出	19,047	51,829	△ 32,782	
印 刷 製 本 費 支 出	266,000	440,000	△ 174,000	需要予測報告書
旅 費 交 通 費 支 出	132,800	133,066	△ 266	日機連
委 託 費 支 出	2,060,000	2,060,000	0	需要予測作業委託
雑 支 出	10,000	10,000	0	
需 要 対 策 事 業 費 支 出 計	6,851,982	7,103,261	△ 251,279	
国 際 交 流 事 業 費 支 出				
役 員 報 酬 支 出	558,000	558,000	0	
給 料 手 当 支 出	4,094,400	3,115,700	978,700	
福 利 厚 生 費 支 出	427,000	468,700	△ 41,700	
手 当 ・ 謝 金 支 出	20,000	20,000	0	セナー先生等
会 議 費 支 出	438,800	466,800	△ 28,000	委員会、セナー、懇親会、視察団
貸 借 料 支 出	440,000	440,000	0	
電 力 料 (光 熱 費) 支 出	13,455	16,759	△ 3,304	
リ ー ス ・ 保 守 料 支 出	62,038	61,546	492	
通 信 運 搬 費 支 出	59,358	76,522	△ 17,164	
印 刷 製 本 費 支 出	40,000	340,000	△ 300,000	インジャパン無し
旅 費 交 通 費 支 出	1,200,000	1,186,000	14,000	ユーザー関連海外見本市、国際会議
諸 会 費 等 支 出	83,200	83,200	0	JETRO
雑 支 出	10,000	10,000	0	

科 目	2021年度予算	2020年度予算	増 減	
国際交流事業費支出計	7,446,251	6,843,227	603,024	
標準化事業費支出				
・ISO対策事業費				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	2,496,925	2,084,750	412,175	
福利厚生費支出	199,000	217,300	△ 18,300	
手当・謝金支出	210,500	20,046	190,454	先生等
会議費支出	644,980	210,000	434,980	姫路国際会議
賃借料支出	414,000	414,000	0	
電力料(光熱費)支出	9,165	7,901	1,264	
リース・保守料支出	42,258	29,015	13,243	
通信運搬費支出	48,964	65,392	△ 16,428	報告書、技術資料配付等
印刷製本費支出	100,000	10,000	90,000	姫路国際会議資料
旅費交通費支出	958,000	2,100,000	△ 1,142,000	三菱総研より補助予定
海外派遣補助等支出	120,000	120,000	0	ISO委員派遣(TC131、TC118)海外旅行保険
雑支出	10,000	10,000	0	
・ISO対策事業費支出計	5,951,292	5,985,904	△ 34,612	
・規格事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	2,496,925	2,084,750	412,175	
福利厚生費支出	195,000	217,300	△ 22,300	
手当・謝金支出	549,500	549,500	0	先生等
会議費支出	707,000	1,044,500	△ 337,500	会場費、茶代、懇親会、ドクトブック
賃借料支出	408,300	408,300	0	
電力料(光熱費)支出	9,165	7,661	1,504	
リース・保守料支出	42,258	28,135	14,123	
通信運搬費支出	14,464	36,207	△ 21,743	工業会規格、技術資料配布等
印刷製本費支出	80,000	80,000	0	工業会規格印刷、技術資料、ポスター等
旅費交通費支出	170,000	176,827	△ 6,827	
資料購入費支出	30,000	30,000	0	JIS規格等
雑支出	10,000	10,000	0	
・規格事業費支出計	5,410,112	5,370,680	39,432	
標準化事業費支出計	11,361,404	11,356,584	4,820	
技術調査事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	3,092,825	3,228,750	△ 135,925	
福利厚生費支出	343,000	375,200	△ 32,200	
手当・謝金支出	100,000	100,000	0	ドクトブック
会議費支出	788,000	1,520,900	△ 732,900	会場費(web会議増)、茶代、懇親会、市場調査
賃借料支出	370,500	370,500	0	
電力料(光熱費)支出	10,920	13,407	△ 2,487	
リース・保守料支出	50,350	15,938	34,412	
通信運搬費支出	25,494	80,938	△ 55,444	報告書、技術資料配付
印刷製本費支出	33,000	33,000	0	
旅費交通費支出	528,100	956,536	△ 428,436	特許、若手技術者、部会講師旅費、市場調査
諸会費等支出	0	240,000	△ 240,000	学会費は管理費へ
雑支出	15,000	15,000	0	
技術調査事業費支出計	6,054,689	7,647,669	△ 1,592,980	
広報・PR事業費支出				
役員報酬支出	1,395,000	1,395,000	0	
給料手当支出	2,536,200	2,779,300	△ 243,100	
福利厚生費支出	370,000	402,100	△ 32,100	
手当・謝金支出	60,200	60,138	62	先生等(編集委員会2回)
会議費支出	70,000	235,650	△ 165,650	
賃借料支出	444,600	444,600	0	
電力料(光熱費)支出	11,310	14,365	△ 3,055	
リース・保守料支出	52,148	52,754	△ 606	
通信運搬費支出	359,211	332,876	26,335	機関誌発送
印刷製本費支出	3,300,000	3,300,000	0	機関誌、ポスター代
原稿料支出	1,120,000	1,120,000	0	機関誌原稿料/4回、IFPEX特集
旅費交通費支出	343,300	451,000	△ 107,700	研究室訪問
資料購入費支出	435,000	435,000	0	水圧プロク、HP水圧メニュー改善

科 目	2021年度予算	2020年度予算	増 減	
雑 支 出	120,000	120,000	0	研究室訪問、著作権関連弁護士相談料
広報・PR事業費支出計	10,616,969	11,142,783	△ 525,814	
中小企業関連事業費支出				
役員報酬支出	1,116,000	1,116,000	0	
給料手当支出	2,755,500	2,195,150	560,350	
福利厚生費支出	360,000	391,500	△ 31,500	
会議費支出	226,400	302,440	△ 76,040	
賃借料支出	418,400	418,400	0	
電力料（光熱費）支出	11,115	14,125	△ 3,010	
リース・保守料支出	51,240	51,875	△ 635	
通信運搬費支出	19,253	33,153	△ 13,900	生命共済募集案内
印刷製本費支出	54,200	54,200	0	研修報告書 セミナー資料
旅費交通費支出	390,000	397,000	△ 7,000	
雑 支 出	5,000	5,000	0	
中小企業関連事業費支出	5,407,108	4,978,843	428,265	
振興・PL対策事業費支出				
・振興対策事業費				
役員報酬支出	1,116,000	1,116,000	0	
給料手当支出	2,284,600	2,140,750	143,850	
福利厚生費支出	488,500	536,500	△ 48,000	
手当・謝金支出	0	50,000	△ 50,000	
会議費支出	859,000	959,000	△ 100,000	部会
賃借料支出	538,100	538,100	0	
電力料（光熱費）支出	9,750	19,153	△ 9,403	
リース・保守料支出	44,955	70,338	△ 25,383	
通信運搬費支出	93,941	121,768	△ 27,827	
印刷製本費支出	8,000	8,000	0	
旅費交通費支出	911,100	893,000	18,100	IFPEX、部会、関連協他
資料購入費等支出	0	150,000	△ 150,000	
諸会費等支出	170,000	170,000	0	工作機械関連協議会、他
支部・部会運営補助支出	1,326,000	1,326,000	0	
雑 支 出	19,000	19,000	0	
・振興対策事業費支出	7,868,946	8,117,609	△ 248,663	
・PL対策事業費				
役員報酬支出	279,000	279,000	0	
給料手当支出	308,000	202,100	105,900	
福利厚生費支出	50,000	54,600	△ 4,600	
会議費支出	37,000	37,000	0	PLセミナー
賃借料支出	66,200	66,200	0	
電力料（光熱費）支出	1,755	1,915	△ 160	
リース・保守料支出	8,092	7,034	1,058	
通信運搬費支出	13,429	12,979	450	
印刷製本費支出	2,000	2,000	0	セミナー資料
旅費交通費支出	31,700	25,000	6,700	
・PL対策事業費支出	797,176	687,828	109,348	
振興・PL対策事業費支出計	8,666,122	8,805,437	△ 139,315	
受託・補助事業費支出				
J I S 原案8月受託事業費支出	108,000	120,000	△ 12,000	JIS原案2020年8月
J I S 原案12月受託事業費支出	0	0	0	JIS原案2020年12月 無し
J I S 原案4月受託事業費支出	0	180,000	△ 180,000	JIS原案2020年4月 未定
水圧国際標準化受託事業支出	0	3,592,000	△ 3,592,000	高効率水圧システムに関する国際標準化 無し
・受託事業費支出小計	108,000	3,892,000	△ 3,784,000	
J K A 補助事業支出	4,198,000	3,943,000	255,000	スマートパワの国際競争力に資する標準化推進
・補助事業費支出小計	4,198,000	3,943,000	255,000	
受託・補助事業費支出計	4,306,000	7,835,000	△ 3,529,000	
その他事業費支出				
役員報酬支出	697,500	697,500	0	
給料手当支出	3,224,050	3,173,200	50,850	
福利厚生費支出	420,000	460,900	△ 40,900	
手当・謝金支出	160,000	160,000	0	講師謝礼
会議費支出	5,283,000	5,283,000	0	総会懇親会、西日本支部総会、年始会、技術講座
賃借料支出	444,600	444,600	0	

科 目	2021年度予算	2020年度予算	増 減	
電力料（光熱費）支出	11,310	16,519	△ 5,209	
リース・保守料支出	44,955	60,667	△ 15,712	
通信運搬費支出	50,611	158,974	△ 108,363	総会懇親会案内送付、技能講座
印刷製本費支出	133,000	133,000	0	懇親会案内、技能講座資料
消耗品費支出	90,000	90,000	0	技能講座
旅費交通費支出	581,600	569,000	12,600	西日本支部総会、技能講座
資料購入費等支出	1,316,000	76,000	1,240,000	空気圧トレーニングキット、過去問題集、赤本
支部・部会運営補助支出	200,000	200,000	0	西日本支部運営費
その他事業費支出	12,656,626	11,523,360	1,133,266	
事業費支出計	73,367,151	77,236,164	△ 3,869,013	
② 管理費支出				
役員報酬支出	5,780,000	5,780,000	0	
給料手当支出	25,557,475	22,809,500	2,747,975	
福利厚生費支出	2,780,000	3,054,500	△ 274,500	
退職給付支出	0	0	0	
会議費支出	2,050,000	2,200,000	△ 150,000	総会
賃借料支出	3,583,600	3,583,600	0	
電力料（光熱費）支出	98,280	109,410	△ 11,130	
リース・保守料支出	453,147	401,808	51,339	
通信運搬費支出	424,944	458,644	△ 33,700	メール、電話、FAX、切手、宅急便
印刷製本費支出	822,900	872,900	△ 50,000	会員名簿、封筒印刷、名刺
旅費交通費支出	1,938,700	1,954,000	△ 15,300	日機連海外業務
資料購入費支出	294,840	294,840	0	経済産業ハブブック、新聞等購読
消耗品費支出	200,000	200,000	0	事務用品、印刷機インク等
諸会費支出	1,280,000	1,100,000	180,000	日機連、機振協、規格協会、学会他
委託費支出	1,548,000	1,354,000	194,000	税理士、労働保険事務、清掃業務、委託契約料
渉外費支出	1,220,000	1,220,000	0	
広報宣伝費支出	381,000	171,000	210,000	ホームページ維持費、名刺広告、日本産業広告賞
手数料料支出	430,000	483,000	△ 53,000	FAX通知、振込手数料、小切手帳等
租税公課支出	1,160,000	780,000	380,000	印紙、都民税、法人税、消費税
雑支	500,000	600,000	△ 100,000	登記費用、備品購入、災害対応備蓄
管理費支出計	50,502,886	47,427,202	3,075,684	
事業活動支出計	123,870,037	124,663,366	△ 793,329	
事業活動収支差額	△ 18,575,248	△ 19,798,577	1,223,329	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	2,614,000	2,772,000	△ 158,000	
特定資産取得支出計	2,614,000	2,772,000	△ 158,000	
② 固定資産取得支出計	0	0	0	
投資活動支出計	2,614,000	2,772,000	△ 158,000	
投資活動収支差額	△ 2,614,000	△ 2,772,000	158,000	
III 子備費支出				
当期収支差額	△ 21,189,248	△ 22,570,577	1,381,329	
前期繰越収支差額	105,333,924	107,654,379	△ 2,320,455	
次期繰越収支差額	84,144,676	85,083,802	△ 939,126	

注記.

- JIS原案8月扱い受託事業：日本規格協会 - 受取収入予算：108,000円
*JIS B8392-2:「圧縮空気-第2部:オイルミストの試験方法」
- JIS原案4月扱い受託事業：日本規格協会 - 受取収入予算：未定
*JIS B9933「油圧-作動油-個体微粒子に関する汚染度のコード表示」(改正)の原案及び開設の作成
- 小型自動車等機械工業振興事業に関する補助金：JKA - 受取補助金：3,146,000円 申請中
*2021年度フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進補助事業